



— KOMEITO —

公明党 福井市議会議員

津田かおり

VOL 15 2023 夏 通信



6月議会での一般質問

1. 心と体を守る取り組み

- ・「こころの体温計」の導入
- ・足こぎ車いす「コギー」の活用
- ・男性のHPVワクチン接種

2. 空き家・空き家予備軍の現状と今後の対策

3. こども家庭庁発足に伴う取り組み

4. 図書館のさらなる充実

--- 概要は次項へ ---

4月の統一地方選挙では、おかげさまで二期目の当選をさせていただきました。市民の皆様にお応えしようと心新たに議員活動に邁進しています。

この「津田かおり通信」も2019年初当選より15回目の発行となります。毎回の議会質問の内容、普段の議員活動状況などを記載し、市民の皆様にご理解をいただくと共に、福井市の行政をより身近なものにしていきたいとの思いで議会を終える度に作成しています。

市民の皆様から伺うご要望やご相談が、私の議員活動の軸となっています。小さなお声を大切にしながら頑張っています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

燃料、物価高騰支援を求め要望書を提出

光熱費や食料品等の価格の高騰を受けて、6月9日福井市議会公明党の3人で、国の「地方創生臨時交付金」を活用した、市民や事業者への支援を求める要望書を東村市長に提出しました。

――― 要望7項目 ―――

1. L P ガス利用世帯への料金負担軽減の実施
2. 高圧・特別高圧で受電する事業者への支援策の実施
3. 中小企業等にたいする賃上げ環境の整備と経営支援強化
4. 低所得世帯への給付金事業の対象世帯拡大
5. 水道基本料金の一定期間の減額実施
6. 公衆浴場への営業支援強化
7. 高齢者や障がい者への自転車ヘルメット購入補助



写真左から津田かおり・菅生敬一・下畑健二・東村市長

市民相談 1,400 件超えました
(2019年4月～)

市民の皆様からの様々なご要望
ご相談に、速やかに対応させて
いただきます！



LINE でも
お気軽に！

〒910-0065

福井市八ツ島町 15-1-4

電話・FAX 0776-92-0686

E-mail kaoritsuda2018@yahoo.co.jp

しゅっだ！
がっつだ！



津田かおり
ホームページ

心と体を守る取り組みについて



Q 自殺や心の病を防ぐための「こころの体温計」の導入を考えるが、現状と所見は？

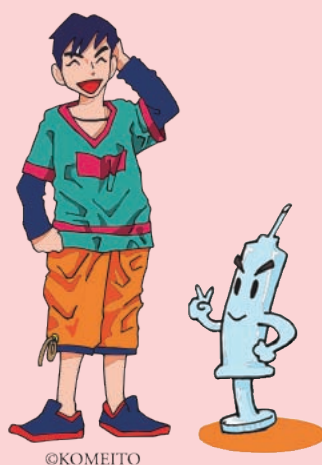
A 本市の自殺者数は以下の通り。
2020年＝30人 2021年＝41人 2022年＝39人
対策としては、医師や臨床心理士による「個別相談会」や弁護士など専門家による「悩みごと相談会」を開催している。本市では、県と県医師会が作成した「心の健康度自己評価票」を活用している。
ICTを活用した「こころの体温計」は、パソコンやスマートフォンで手軽に自己チェックができるため導入を検討していく。

Q 男性のHPV感染の実態とワクチン接種費用の一部助成を望む

A 男性のHPV感染で、発症リスクのある疾病は、肛門がん・中咽頭がん・陰茎がんなどがある。HPVワクチン接種には感染率の低下が期待されている。
男性への接種には4価ワクチンが承認されている。費用は、1回15,000円～20,000円程度、3回の接種が必要で45,000円～60,000円程度の費用が必要。
費用の助成については、国の動向を注視して対応していく。

Q 歩行が困難な方の現状と足こぎ車いす「コギー」の活用を望む

A 障がい等により歩行が困難な方の人数は障害者手帳の交付を受けている方のうちで901名。また要介護認定を受けている方のうちで車いすの利用が可能と考えられる方は3,120名。車いすの貸与については、市が給付を決定している。
足こぎ車いすについては、心身機能の改善・向上に有効で、対象用具として取り扱っている。(希望があれば貸与。存在も今後周知していく)



7月5日一般質問
動画はこちらです



空き家・空き家予備軍の現状と今後の対策



Q 本市の空き家の実態は？

A 空き家等ではないかと思われるものは、2017年度＝1,695件 2022年度＝1,929件で234件増加している。現在、空き家情報バンクの累計登録件数は売買＝225件、賃貸＝117件、合計342件。さらに「空家特措法」に基づく認定件数＝20件となっている。



Q 空き家に対する現在の取組状況は？

A 実態調査で判明した空き家所有者に対し、適正な管理、活用策について情報提供を行い、アドバイザー派遣やリフォーム支援などを行っている。管理不全になった所有者に対しては「空家特措法」に基づき助言を行っている。さらに老朽化し危険を及ぼす恐れのある所有者には、除去にかかる経費の一部助成を行っている。

Q 空き家予備運への取り組みは？

A 市の住宅政策課に「空き家等の総合相談窓口」を設けて相談に応じている。庁内の各所属、法律・不動産・建築など関係団体と連携をとり、相談内容に応じ、空き家情報バンクの登録など各種支援事業の紹介をしている。また民生委員地域包括支援センター等に、空き家ガイドブック「住まいのこれから」を配布し、意識啓発を図っている。

Q 本市の空き家ガイドブック「住まいのこれから」は、高齢者には内容がわかり難い、わかり易い内容に改定を求めると同時に、周知を図ってほしい。

A よりわかりやすい内容になるよう、他市の事例等も参考に今後充実させ、周知していく。



こども家庭庁発足に伴う取り組み

Q 「こども家庭センター」新設に伴う体制は？

A 児童虐待やヤングケアラーなど、緊急性の高い課題に対応する機能を持っているため、来年4月の法施行にあわせ開設の準備を進めている。また児童福祉分野と母子保健分野の相談支援を担い、部局をまたいだ対応が必要となるため、これ念頭においた組織体制にする。



Q 教育委員会との連携は？

A 現在、児童虐待等のケースは、児童相談所・警察・医師会・子ども園・学校などと連携して支援を協議している。センター設置後もこの協議会を通じてしっかりと対応していく。

Q 子ども子育てに関する相談は、ワンストップ対応をお願いしたいが、設置場所は？

A 妊産婦・子育て世帯・子どもに関する相談支援を行うセンターについては、ワンストップで対応できる窓口にしたいと考えており、これを踏まえた設置場所を検討している。

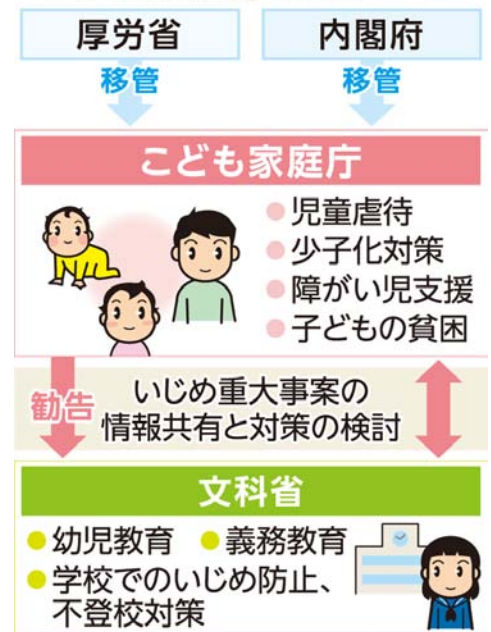
Q 子ども目線の意見集約・子ども・若者の声の反映の方向性・取り組みは？

A 国では、昨年度「子どもの意見反映プロセスの在り方に関する調査研究」を行い、評価・課題をまとめた。本市としてもこの研究結果を参考にして、子どもの意見を施策に反映できるように取り組んでいく。

「こども家庭庁」とは？

「こども家庭庁」は、少子化や虐待、貧困といった子どもに関する課題に総合的に対応する新しい行政組織。首相直属の機関として厚労省や内閣府が担ってきた子どもや子育てにかかわる主な部署を移管。各省庁より一段高い立場から子ども政策を一元的に担う。

こども家庭庁のイメージ



図書館のさらなる充実

Q リニューアルする図書館の概要は？

A 以前より広いスペースを確保したため、一般図書エリアと児童図書エリアを分けることが可能になり一般図書エリアでは、静かな空間で本を閲覧でき、児童図書エリアでは、周囲に気兼ねなく、子どもと一緒に読み聞かせをしながら本を楽しく選ぶことができるようになる。屋外テラスにイスやテーブルを配置し、開放感のある心地よい環境で、本を閲覧できるようにする。

自動貸出機を導入、貸出手続きの迅速化とプライバシーに配慮が図れるようになる。

「地域交流センター」を併設、多目的ホールや複数の活動室があり、子どもから高齢者まで多くの市民が集い学習し交流できる場となる。



Q 全国的に「電子図書館サービス」が導入されている。未導入は全国で福井をはじめ、3県のみとなっている。早急に導入を図り、利用者のニーズに応えてほしい。

A 電子図書館は、遠隔地でも来館することなく24時間いつでも利用が可能で、管理面でも効率化が図られる。一方で、初期費用、ランニングコスト、書籍の購入費、電子化されている図書が少ない等の状況がある。他市町の動向を注視し検討していく。

Q 「読書通帳」システムの導入への所見は？

A 本市のチャレンジ未来予算を活用し、利用者が読書の記録を残し、後で振り返れる「読書日記」を作成する予定。本の感想等を記録しておくことで、達成感や読書意欲の向上につながるものとする。

ペットとの同行避難訓練が 実施されました！

昨年、2022年9月議会において、災害時の避難支援として
「ペット連れの避難訓練」の実施を要望していました。

6月25日に、宝永地区で実施された福井市総合防災訓練で
福井市としては初めて、ペットを避難所で受け入れる訓練が
実施されました。



福井市ホームページより

84 宝永4丁目交差点事故対策

どちらが優先道路かわかりにくく
交通事故が多発していました。白
線を引いて優先を明確にしました。



87 光陽・中挾公園遊具塗装

塗装が剥けて手が滑りやすく、子ども
たちのケガにつながる恐れがありました。



87



赤い番号を選んでタップ
すると画像とコメントが
表示されます

スマホでQRコードを
読み込むと Google Map
が表示されます。

**安心安全の
まちづくり**



85 豊岡2丁目側溝補修



中央公園のハスです

89 上一光水路補修

老朽化により水路の枠が
破損、周辺に水害が発生
する恐れがありました。

